



# 県立高看だより



第43号(令和4年3月)

## 【巻頭言】

早春の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろより本学院の運営に多大のお力添えをいただき、心より感謝いたします。

令和3年度もあとわずかとなりました。日本で最初に新型コロナウイルス感染症の患者が報告されてから、すでに2年が経ちました。現在なお続いている感染拡大の波は、看護基礎教育の在り方にも大きな影響をもたらしました。看護基礎教育における臨地実習は、学内で学んだ知識・技術・態度の統合を図りつつ看護方法を習得する学習過程です。看護実践能力を高めるために臨地実習は不可欠なものです。しかし、例年通りの臨地実習ができず、多くの実習が中止になりました。臨地実習以外の場で学ぶことに限界を感じながら、本来の実習目的および目標が達成できるよう熟考し実施してきました。学生らは、看護実践の場で起こり得る場面を想定した紙上事例を展開し模擬患者を通して、看護の楽しさや難しさを実感して学びを深めています。

そのようななか、最終学年の3年生66名が、2月13日の第111回看護師国家試験に臨みました。新規陽性患者数が過去最多となるなか、いつ、自分が感染するかもしれないという不安を抱えての受験でした。追試験はないことの重圧を跳ねのけ、全員が受験できたことに教職員一同安堵しています。そして、来る3月1日は卒業式です。昨年同様、御来賓の皆様の御臨席は叶わず、卒業生と保護者1名、教職員で執り行うことといたしました。保護者の皆様方におかれましては、卒業式を楽しみにされていたことと存じますが、御理解いただき感謝申し上げます。

依然として予断を許さない状況ではありますが、今後ポストコロナを見据え、安全・安心な教育環境の実現に向け、教職員一丸となり取り組んでまいります。あらためて保護者の皆様には、本学院の教育活動に御支援、御協力くださいますようよろしくお願いいたします。

最後に、新型コロナウイルス感染症の猛威から、患者さんを守り、必死に対峙されている医療従事者の皆様へ、心より敬意と感謝申し上げます。

学院長 伊藤 美佐子



## 【学年担当より】

### <1年生（40回生）>

基礎看護学実習Ⅱは、2月28日から3週間、取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、臨地実習3日間と学内での実習に変更となりました。実習目的は、「患者のニーズを判断し、対象にあった日常生活援助技術を学ぶ」であり、1年次に学んだ知識、技術を活かして患者の個別性を考えた看護を実践しています。

国家試験対策として初めての業者模擬試験を、1月21日に実施しました。学生の反応としては、知識の不足を感じたという感想が多くありました。試験結果は、春休み前に返却しますので、内容を確認し、現状を把握して更なる学習習慣を身につけることを期待します。

春休みは、1年間の振り返りを計画的に行い、心身ともにリフレッシュして2年生への準備をしましょう。4月の始業式には、1年次の成績表を配布しますので、1年間の学習成果を確認しましょう。御家族の皆様には、今後とも心身両面の御支援をお願いします。

### <2年生（39回生）>

領域別実習は、11月から開始し3クールまで終了しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、臨地実習が中止となり学内実習に変更となったグループもありました。しかし、学内実習でも実習目標が達成できるように、紙上事例や看護実践に繋がられるように工夫しました。臨地実習が経験できた学生は、経験できなかった学生に臨地実習での戸惑いや悩み、患者さんの回復の喜び、学びを伝え、共有することで学びを深めることができました。

また、2年生は就職活動の時期になります。2月28日には、埼玉県立病院、3月7日には、実習病院の職員による就職説明会を開催し、各病院の説明を真剣に聴講していました。

春休みは、自身の希望する進路を十分に考え決定していきましょう。教職員一同、学生が専門職へのこころざしを持ち続けられるよう支援していきます。御家庭でも、心身両面の御支援を宜しくお願い致します。

### <3年生（38回生）>

第111回看護師国家試験は、令和4年2月13日（日）に武蔵大学江古田キャンパスで実施され66名全員が無事に受験しました。これまで「国家試験全員合格」という目標を掲げ、今年度も新型コロナウイルスの感染予防に注意を払い、最後まで諦めず取り組みました。66名全員が国家試験を受験することができたことは、学生各々が高い意識をもち節度を持って自身を律してきた成果であると思います。教員もコロナ禍に生じうる精神面への支援を行ってきました。昨今の厳しい状況のもと3年生の頑張りが実を結ぶことを願っています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、臨地実習が予定通り行うことができなかった学年ではあります。しかし、貴重な病院・施設での経験と学院での実習で学んだことを活かし、患者様を尊重した個別性に合わせた看護を追求していくことを期待しています。これから社会人・医療専門職として研鑽を怠ることなく頑張ってください。

看護師国家試験合格発表は、3月25日（金）です。全員合格を祈念しています。

### 【令和3年度入学試験状況】

学校説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインを併用しながら実施しました。8月から12月まで全12回実施し、参加者総数は239名でした。事前予約制や来校時の体温測定など、参加者の皆様にも御協力いただき無事に終了することができました。入学試験も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じたうえで、推薦選考・社会人選抜試験を11月に、一般選抜試験を2月に実施しました。



受験倍率は、推薦選考試験：1.3倍、社会人選抜試験：2.3倍、一般選抜試験：1.2倍でした。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療者を目指すことに不安を感じている志願者も多いと思います。看護職に関心が持てるように、学校説明会の開催や高等学校などの進路相談会に積極的に参加して、看護の魅力や学院の魅力を伝えていきます。

### 【体育館修繕工事】

今年度は、第2校舎の防水工事、学生寮の窓・サッシ・網戸の交換、体育館の外壁・屋根・床の張替え工事を行いました。体育館の床は見違えるほどきれいになりました。「健康を支える体育学」や学院祭、個々の運動も楽しみになります。



### 【授業教材の整備・備品購入】

学内演習は、臨床判断能力の基盤を構築する上で重要な役割を担っています。今年度の新規備品は、分娩介助モデル（母性看護学）、幼児用小児実習モデル（小児看護学）、吸入用ネブライザー（成人看護学）、モデル人形収納ケース（基礎看護学）です。これらは、新型コロナウイルス感染症に伴い臨地実習が中止になるなか臨地実習に近い体験やシミュレーション教育など卒業時の技術到達度に向けて活用できると期待しています。



### 【学院の感染対策および環境整備の取り組み】

当学院では、環境整備委員会を中心に学内の環境整備を実施しています。今年度は、特に、新型コロナウイルス感染症対策として、手洗いの励行、アルコール消毒の徹底のために、洗面所や教室の入り口にポスター掲示を更新して重点的に取り組みました。学習環境改善のためには、週1回学内放送を通して冷暖房の適切な使用や戸締りを呼びかけています。委員会は、隔月で開催し、学内の環境整備の強化のための検討や定期的に貸与備品（ロッカー）や共用部の点検を行っています。次年度も引き続き、感染対策環境整備に努めていきます。



# お知らせ

## 【今後の予定】

- 3月25日（金） 看護師国家試験合格発表
- 4月 6日（水） 始業式・入寮式
- 4月 7日（木） 入学式
- 5月 6日（金） 新入生歓迎会
- 7月22日（金） 学習環境整備  
卒業生とふれあう会
- 7月23日～8月21日 夏季休暇
- 8月22日（月） 始業



\*予定は変更されることがあります。

発行/埼玉県立高等看護学院

〒360-0105 埼玉県熊谷市板井 1696-5 TEL 048-536-1916

発行責任者 伊藤 美佐子

